**新・府有建築物耐震化実施方針**

平成28年８月策定

平成29年４月改訂

１．新・府有建築物耐震化実施方針の位置づけと目的

大阪府は、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」（平成７年法律第123号）第５条第１項の規定に基づく耐震改修促進計画である「大阪府住宅・建築物耐震10ヵ年戦略プラン」を平成18年12月に策定し、民間建築物及び公共建築物の耐震化の目標や必要な施策等を明らかにするとともに、府有建築物について、耐震化への取組みの基本的な考え方を示した。

この基本的な考えを踏まえ、府有建築物耐震化実施方針において、より具体的な目標や耐震化事業の進め方などを示し、平成18年度から平成27年度までの10年間の計画期間において、府有建築物の耐震化を進めてきたところである。

　　平成28年１月に新たな計画となる「住宅建築物耐震10ヵ年戦略・大阪」（大阪府耐震改修促進計画）を策定し、府有建築物については、引き続き、府民の生命、財産を守るこれまでの耐震化の取組みを進めるとともに、経済活動等を守る観点からの庁舎等の耐震化にも積極的に取組んでいくことを位置づけたことから、本方針は、今後の府有建築物の耐震化対策の方向性をまとめたものである。

　　※本方針をもとに、耐震化に向けての取組みを引き続き進めていく。熊本地震のように大規模な地震が「連続発生」した場合等については、今後、国からの新たな知見が示された段階で対応を検討していく。

２．耐震化対策のこれまでの取組み

　　大阪府では、阪神・淡路大震災の後、昭和56年以前の旧耐震基準に基づき建設された特定建築物及び準特定建築物について、順次、耐震診断を実施した結果、現行の耐震基準と同等の耐震性能を有しない建築物（構造耐震指標Ｉｓ値が0.6未満の建築物）を対象とし、建築物用途により、表１のとおり分類し、平成27年度末までに府有建築物の耐震化率を90％以上、ただし、災害時に重要な機能を果たす建築物、府立学校等については100%を目標に耐震化を進めてきたところである。

　　なお、平成27年度末の耐震化の状況については、次の表１に示すとおりであり、府有建築物とは、特定建築物及び準特定建築物全体である。

表１　建築物用途の分類と平成27年度末の耐震化率の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建築物用途の分類 | 耐震化率％ | （耐震性有／全体）棟数 |
| 災害時に重要な機能を果たす建築物・災害対策の指揮命令等の中枢機能施設（庁舎、警察）・人命救助の主要な拠点施設（病院、保健所）・市町村が指定した避難所（府立学校等）・その他（土木施設、水道施設） | 99.2 | 357/360 |
| 府立学校（ただし、災害時に重要な機能を果たす建築物の避難所指定されている体育館及び校舎を除く。）・府立高校、府立支援学校 | 100 | 1,171/1,171 |
| 府営住宅・住棟 | 79.6（82.1） | 2,734/3,436（104,940戸/127,827戸） |
| その他一般建築物・府税事務所、福祉・青少年施設、公園施設、警察待機宿舎等 | 87.7 | 178/203 |
| 府有建築物 | 85.9 | 4,440/5,170 |

３．耐震化対策の対象とする府有建築物

表１の建物用途の分類に示される、旧耐震基準に基づき建設された特定建築物及び準特定建築物のうち、現行の耐震基準と同等の耐震性能を有しない建築物。

４．耐震化の目標

（１）計画期間　平成28年度から平成37年度までの10年間

（２）耐震化率　平成32年度までに府有建築物　95％以上

　　　　　　　　ただし、災害時に重要な機能を果たす建築物は、平成30年度までに100％

「府有建築物耐震化事業計画」（以下「事業計画」とする。）により個別の進捗管理を行い、早期耐震化完了をめざす。

府有建築物であることから、５年という短い期間で目標を設定し、耐震化の促進に取組む。

５．新たな耐震化の推進方針

　　建築物用途別の耐震化の進め方

（１）災害時に重要な機能を果たす建築物

　　　一　事業中の建築物は、速やかに耐震化を完了させる。

　　　二　各建築物の詳細は、事業計画による。

（２）府立学校

　　　　耐震化完了。

（３）府営住宅

一　耐震化が必要な住宅がいまだ残されており、入居者の安全安心を確保するため、耐震改修や建替えの事業を最重点の取組みとし「大阪府営住宅ストック総合活用計画」に基づき、引き続き積極的に耐震化を推進する。

二　各住宅の詳細は、「大阪府営住宅ストック活用事業計画」に定める「団地別事業実施計画（案）」による。

（４）その他の一般建築物

一　事業中及び耐震化に向けた計画策定中の建築物については、速やかに耐震化を完了させる。まだ、事業方針が定まっていない建築物については、関係機関等と協議調整を進め、早期事業化に向け取組む。

二　各建築物の詳細は、事業計画による。

６．新たな耐震化の取組み

　　過去に発生した地震による建築被害を踏まえ、建築物の安全性確保対策が的確に推進されるよう、建築物の耐震改修の促進に関する法律をはじめ、様々な基準・計画等の検証、見直しが行われてきた。府有建築物においても、利用者である府民の安全・安心を最優先に確保するため、建築物ごとの緊急度及び優先度を考慮しながら将来の活用方針を早急に検討し、中長期を見通したうえで投資すべき事業の重点化を図り、以下に示す耐震化対策の取組みを推進する。

（１）業務継続上必要な建築物等の耐震化

一　災害時に重要な機能を果たす建築物のうち庁舎等については、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」（平成25年版国土交通省）及び「府有建築物総合耐震設計要領」（平成９年３月大阪府建築部営繕室）等に準拠し、機能確保のための強化を推進する。

二　旧耐震基準により建設された建築物で、これまで耐震化対策の対象でなかった建築物についても、 府民生活を支えるための業務継続等の観点から耐震化を推進する。

（２）２次構造部材等の耐震化

一　特定天井を有する既存建築物について、災害時に重要な機能を果たす建築物、固定された客席を有する劇場、観覧場、集会場等の用に供する建築物など施設の優先度を考慮して天井等の耐震対策を行う。

なお、定期点検等で指摘がある場合、日常の維持管理上著しい劣化等が見受けられた場合は、直ちに落下防止対策（当該天井下の使用中止、落下防止ネットの設置等）を行う。

二　府立学校については、前号の対策に加えて、屋内運動場等の大規模な空間の天井及び照明器具等の耐震点検及び対策を行う。

三　エレベーターの耐震対策及び閉じ込め防止対策を行う。

四　エスカレーターの脱落防止対策を行う。

五　ガラス、外装材、屋外広告物、ブロック塀等について脱落防止対策や転倒防止対策を行う。

六　その他、基準が定められたものについては、適宜対応を進めていく。

（３）長周期地震動対策

　　　既存の超高層建築物等について、長周期地震動の検証を行い、必要な対策を行う。

７．その他

　　本方針に基づく耐震化事業の進捗状況については、毎年度末に集約し、翌年度当初に公表する。

　　なお、本方針は、社会経済情勢の変化、事業実績及び耐震化にかかる法改正等を踏まえ、概ね５年を基本として、必要に応じ方針の見直しを行う。

用語の解説

○旧耐震基準

　　　昭和56年５月31日以前の耐震基準のこと。

○現行の耐震基準

　　　建築基準法（昭和25年法律第201号）昭和56年６月１日施行の耐震基準のこと。中規模の地震（震度５強程度）に対しては、構造体を無被害にとどめ、極めて稀に遭遇するような大地震（震度６強程度）に対しては人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標としている。

○構造耐震指標（Ｉｓ）

構造体の耐震性能を表す指標。

○特定建築物

　　　建築物の耐震改修の促進に関する法律第１４条に規定される多数の者が利用する建築物（特定既存耐震不適格建築物）をいう。

○準特定建築物

　　　特定建築物に準じた建築物として下表に示す条件を満たす建築物

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物の区分 | 規模要件 |
| 災害時に重要な機能を果たすべき建築物 | 規模に関係なく全ての建築物 |
| 府立学校 | 非木造で階数が２以上又は延べ面積が２００㎡以上の建築物 |
| 府営住宅 | 規模に関係なく全ての住棟 |
| その他の一般建築物 | 不特定多数の利用がある、原則として非木造で階数が２以上かつ延べ面積が２００㎡以上の建築物 |

　　　　　ただし、特定建築物を除く。

○特定天井

　　　　建築基準法施行令第３９条第３項に規定される「脱落によって重大な危害を生ずるおそれがある天井」をいい、次の各号のいずれにも該当するもの。

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 居室、廊下その他の人が日常立ち入る場所に設けられている。 |
| ２ | 高さが６ｍを超える天井の部分で、その水平投影面積が２００㎡を超えるもの |
| ３ | 天井面構成部材等の単位面積質量（天井面の面積の１㎡当たりの質量をいう。）が２ｋｇを超えるもの。 |

学校施設については、文部科学省の基準により、上記に該当するものに加え以下のいずれかに該当する天井についても準じて扱うこととする。

|  |  |
| --- | --- |
| １ | 高さが６ｍを超える天井 |
| ２ | 水平投影面積が２００㎡を超える天井 |

○屋内運動場等

　　　府立学校の屋内運動場、武道場、講堂及び屋内プールをいう。

　○長周期地震動

地震による揺れが1往復するのにかかる時間（周期）の長いゆっくりとした大きな揺れ（地震動）のこと。

建築物には固有の揺れやすい周期（固有周期）があり、地震波の周期と建築物の固有周期が一致すると共振し、建築物が大きく揺れる。超高層建築物（高さ60ｍ以上）の固有周期は、低い建築物の周期に比べると長いため、長周期の波と「共振」しやすいといわれている。

**府　有　建　築　物　耐　震　化　事　業　計　画**平成29年3月

　凡　　例

　【構造・階数】

　　１．RC ： 鉄筋コンクリート造　　２．SRC ： 鉄骨鉄筋コンクリート造　　３．S ： 鉄骨造 　４．RC+S ： 体育館の場合、屋根は鉄骨造　　　５．○F ： 地上階数　　　　　 　６．○B ： 地下階数

　【耐震性能】

　　A ： 現行の建築基準法と同等の耐震性能を満たすもの　　　　B ： 現行の建築基準法と同等の耐震性能を満たさないもの（Is値0.3以上0.6未満）　　　C ： 現行の建築基準法と同等の耐震性能を満たさないもの（Is値0.3未満）

　【着手予定時期】

　　○：H28~H32で着手予定の場合を示す

 **災　害　時　に　重　要　な　機　能　を　果　た　す　建　築　物**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所管部局 | 施設名 | 棟名 | 構造・階数 | 建設年度 | 耐震性能 | 耐震化の手法 | 着手予定時期（年度） | 備考 |
| H28~H32 | H33〜H37 |
| 総務部 | 大阪府庁舎 | 本館（西館） | RC　5F　1B | T15年度 | C | 撤去 | 着手済 |  |  |
| 公安委員会 | 大阪府平野警察署 | 庁舎 | RC　5F　1B | S46年度 | B | 建替 | 着手済 |  |  |

 **そ　の　他　の　一　般　建　築　物**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所管部局 | 施設名 | 棟名 | 構造・階数 | 建設年度 | 耐震性能 | 耐震化の手法 | 着手予定時期（年度） | 備考 |
| H28~H32 | H33〜H37 |
| 環境農林水産部 | 環境農林水産総合研究所水生生物センター | 本館 | RC　2F | S38年度 | B | 用途廃止 | 着手済 |  |  |
| 福祉部 | 金剛コロニー | 総合管理棟 | RC　３F　1B | S45年度 | B | 用途廃止 | 着手済 |  |  |
| 谷町福祉センター | 本館 | SRC　６F　1B | S51年度 | B | 移転集約建替 | ○ |  |  |
| 盲人福祉センター | 障がい者社会参加促進センター | RC　３F | S36年度 | B | 移転集約建替え | ○ |  |  |
| 本館 | RC　2F | S37年度 | B | 移転集約建替え | ○ |  |  |
| 健康医療部 | 公衆衛生研究所 | 本館 | RC　4F | S34年度 | 未診断 | 移転 | ○ |  |  |
| 別館 | RC　６F　1B | S49年度 | 未診断 | 移転 | ○ |  |  |
| 府民文化部 | 日本万国博覧会記念公園 | 迎賓館 | RC　2F | S44年度 | B | 耐震改修 | ○ |  |  |
| 中央休憩所 | RC　2F | S52年度 | B | 耐震改修 | 着手済 |  |  |
| 商工労働部 | あいりん労働福祉センター | あいりん労働福祉センター | RC　13F　1B | S43年度 | C | 建替 | ○ |  | H31仮移転予定 |
| 総務部 | 大阪府公館 | 大阪府公館 | RC・組石造 2F | T12年度 | C | 未定 | 土地利用のあり方を踏まえ検討 |  |
| 分館6号館 | 本館 | RC　3F　1B | S34年度 | C | 未定 |  |
| 旧職員会館 | 職員会館 | RC　4F　1B | S33年度 | 未診断 | 未定 |  |
| 議会事務局 | 大阪府議会会館 | 会館 | RC　2F | S37年度 | B | 未定 |  |
| 公安委員会 | 大阪府警察城東②待機宿舎 | 宿舎3 | RC　4F | S35年度 | B | 建替 | 着手済 |  |  |
| 大阪府北①単身寮 | 宿舎 | RC　4F | S36年度 | B | 建替 | 着手済 |  |  |
| 大阪府警察城東②単身寮 | 寮 | RC　4F | S36年度 | B | 用途廃止 | ○ |  |  |
| 大阪府警察豊中単身寮 | 宿舎 | RC　4F | S39年度 | B | 用途廃止 | ○ |  |  |
| 都市整備部 | 堺3区港湾施設 | 府営堺第10号上屋管理事務所 | RC　3F | S49年度 | B | 用途廃止 | 完了時期未定 |  |
| 府営堺第5号上屋 | RC　3F | S38年度 | 未診断 | 用途廃止 |  |
| 府営堺第6号上屋 | RC　3F | S38年度 | 未診断 | 用途廃止 |  |
| 府営堺第7号上屋 | RC　3F | S38年度 | 未診断 | 用途廃止 |  |

**団地別事業実施計画（案）**

* 個別事業の実施方針を踏まえ、計画期間（平成28年度～平成37年度）内に着手を予定している耐震改修、建替え、集約、中層エレベーター設置事業の候補団地及び着手時期を別表に示します。
* 今後、本実施計画（案）をもとに、地元市町と地域のまちづくりの観点から十分協議を行い、事業手法を確定していきます。また、今後の社会情勢等によっても見直すことがあり、毎年度の予算の定めるところにより事業を実施していきます。

【凡例】

○　 　：各事業の対象となる団地

　　 ：各事業の継続団地

**別 表**

〔注〕・着手時期とは、中層エレベーター設置事業については基本設計の時期、集約事業については地元説明の時期であり、工事等はその後、状況に応じて実施します。

・管理戸数は、平成28年3月31日時点に現存している住戸の数であり、各事業の対象戸数や事業完了後の管理戸数ではありません。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 大阪市※1 | 此花区 | 千鳥橋 | 222 | 中層・高層 | S40～H22 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 平野区 | 高野大橋 | 344 | 中層 | S37～S38 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 瓜破国塚 | 0 | 中層 | S38 |  |  |  |  |  |  |  |
| 瓜破 | 550 | 中層 | S35～S36 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 豊中市 | 庄内西 | 60 | 中層 | S50～S55 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 庄内北 | 100 | 中層 | S51 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 新千里北 | 1,312 | 中層 | S40～S41 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 新千里東 | 340 | 中層 | S40 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 新千里南 | 1,025 | 中層 | S42～S43 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 桜塚 | 550 | 中層 | S44～S47 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 庄内 | 130 | 中層 | S46～S47 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 西緑丘 | 140 | 中層 | S48 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 豊中豊南 | 98 | 中層 | S55～S57 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 豊中島江 | 393 | 中層・高層 | S56～S60 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 豊中春日 | 352 | 中層 | S56～S62 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 豊中上津島 | 130 | 中層 | S57～S60 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 池田市 | 池田神田 | 60 | 中層 | S44 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 池田伏尾台 | 199 | 中層 | S56 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 箕面市 | 箕面桜 | 54 | 中層 | S62 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 吹田市 | 吹田山田西 | 384 | 中層・高層 | S54～S55 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 吹田山田西第２ | 160 | 中層 | S59 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 吹田岸部 | 124 | 中層 | S61 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 千里佐竹台 | 581 | 中層 | S36～H4 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 千里高野台 | 1,829 | 中層・高層 | S37～H5 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 千里藤白台 | 613 | 中層 | S38～S39 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 千里古江台（4丁目） | 1,272 | 中層 | S38 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 千里古江台（5丁目） | 中層・高層 | S39～H15 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 千里青山台 | 485 | 中層 | S39 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 千里桃山台 | 1,040 | 中層 | S41～S42 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 茨木市 | 茨木郡山 | 805 | 中層 | S45 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 茨木安威 | 770 | 中層 | S47～S48 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 茨木玉水 | 144 | 中層 | S60～H2 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 茨木東奈良 | 394 | 中層 | S61～H10 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 茨木玉櫛 | 535 | 中層・高層 | H3～H18 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 摂津市 | 摂津味生 | 60 | 中層 | S50 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 摂津正雀 | 288 | 中層・高層 | S62～H1 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 高槻市 | 高槻芝生 | 1,284 | 中層・高層 | S63～H19 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高槻下田部 | 1,406 | 中層 | S43～S44 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高槻柱本 | 1,160 | 中層 | S46 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高槻氷室 | 80 | 中層 | S48 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高槻赤大路 | 58 | 中層 | S54～S57 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 高槻五領 | 180 | 中層 | S58～S62 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 高槻沢良木 | 312 | 中層 | S61～H2 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 高槻城東 | 309 | 中層 | H1～H3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高槻天川 | 664 | 中層・高層 | H4～H10 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高槻津之江 | 204 | 中層 | H5～H7 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 島本町 | 島本江川 | 564 | 中層 | S59～H2 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 東大阪市※2 | 鴻池第２ | 330 | 中層 | S38～S39 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 東鴻池 | 174 | 低層・中層 | S48 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 東大阪加納 | 390 | 中層 | S57～S58 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 東大阪稲田 | 446 | 中層 | S61～H5 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 東大阪鴻池 | 389 | 中層・高層 | S61～H5 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 枚方市 | 牧野北 | 1,160 | 中層 | S43 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 村野 | 1,100 | 中層 | S43 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 枚方田ノ口 | 950 | 中層 | S43～S49 |  |  |  | ○ |  |  | ○ |  |
| 枚方招提 | 830 | 中層 | S46～S56 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 枚方高田 | 160 | 中層 | S48～S55 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 枚方招提第２ | 176 | 中層・高層 | S50 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 枚方津田第２ | 244 | 中層 | S49 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 枚方藤阪中 | 134 | 中層 | S63～H2 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 寝屋川市 | 寝屋川三井 | 510 | 中層 | S45 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 寝屋川秦 | 785 | 中層 | S45 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 寝屋川打上 | 484 | 低層・中層・高層 | S48 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 寝屋川点野 | 518 | 中層 | S48～S49 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 寝屋川仁和寺 | 358 | 中層 | S48～S50 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 寝屋川寝屋 | 200 | 中層 | S52～S53 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 寝屋川河北 | 302 | 中層・高層 | S52 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 寝屋川香里 | 66 | 中層 | S58～S60 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 寝屋川成田東 | 96 | 中層 | S58～S61 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 寝屋川高柳 | 194 | 中層・高層 | H1～H5 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 寝屋川御幸西 | 465 | 中層・高層 | H4～H14 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 交野市 | 交野梅ケ枝 | 805 | 中層 | S42 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 交野松塚 | 210 | 中層 | S43～S44 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 交野藤ケ尾 | 530 | 中層 | S46 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 守口市 | 守口淀江 | 220 | 中層 | S54～S57 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 守口金田南 | 182 | 中層 | S55～S60 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 守口藤田 | 170 | 中層 | S58～S60 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 門真市 | 門真 | 2,071 | 中層 | S41～S42 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 門真下馬伏 | 244 | 中層・高層 | S49 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 門真北岸和田 | 192 | 中層 | S52 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 門真三ツ島 | 443 | 中層・高層 | S52～S53 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 門真北島 | 116 | 中層 | S54 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 門真古川橋 | 36 | 中層 | S57 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 門真四宮 | 306 | 中層 | S62～H3 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 四條畷市 | 清滝 | 690 | 中層 | S45 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 大東市 | 大東寺川 | 700 | 高層 | S48 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 大東朋来 | 1,379 | 中層・高層 | S50～S63 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 大東深野 | 144 | 中層 | S49 |  |  |  | 　 |  |  |  |  |
| 大東南郷 | 118 | 中層 | S62～S63 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 大東北新町 | 492 | 中層・高層 | S60～H8 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 八尾市 | 八尾高砂 | 866 | 中層 | S40～S41 |  |  |  | 　 |  |  |  |  |
| 北山本 | 120 |  中層 | S44 |  |  |  | 　 |  |  |  |  |
| 久宝寺 | 239 | 中層・高層 | S45～S46 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 八尾緑ヶ丘 | 500 | 中層・高層 | S56～H5 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 八尾志紀 | 1,526 | 中層・高層 | S57～H13 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 八尾西山本 | 78 |  中層 | S63 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 藤井寺市 | 藤井寺道明寺 | 240 | 中層・高層 | H1～H8 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 松原市 | 松原一津屋 | 584 | 高層 | S46～H26 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 松原立部 | 551 | 中層・高層 | S45～S48 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 松原天美 | 144 | 中層 | S57～S60 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 羽曳野市 | 古市 | 552 | 簡耐 | S40 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 羽曳野城山 | 42 |  中層 | S61 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 羽曳野高鷲 | 184 | 中層・高層 | H3～H6 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 羽曳野翠鳥園 | 108 |  中層 | H5～H7 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 富田林市 | 楠風台 | 380 | 中層 | S44 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 富田林西 | 100 | 中層 | S51 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 富田林板持 | 354 | 中層 | S61～H3 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 富田林双葉 | 31 | 中層 | S62 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 河内長野市 | 千代田台 | 532 | 中層 | S41 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 貴望ケ丘 | 470 | 中層 | S43 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 河内長野三日市 | 84 | 中層 | S49 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 河内長野木戸 | 904 | 中層・高層 | S63～H8 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 柏原市 | 柏原旭ヶ丘 | 50 | 中層 | S49 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 柏原円明 | 110 | 中層 | S54 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 柏原芝山 | 220 | 中層 | S55 |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| 大阪狭山市 | 狭山 | 1,440 |  中層 | S44～S45 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 堺市 | 堺区 | 堺戎島 | 705 | 高層 | S45～S46 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中区 | 八田荘 | 2,486 | 中層 | S41～S43 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 八田西町 | 490 | 中層 | S45 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 深井沢町 | 170 | 中層 | S45 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 堺東陶器 | 176 | 中層 | H2～H4 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 東区 | 堺高松 | 450 | 中層 | S45 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 堺大美野 | 110 | 中層 | H2 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 西区 | 堺草部 | 260 | 中層 | S48 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 堺浜寺 | 60 | 中層 | S60～S61 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 北区 | 浅香山 | 928 | 中層・高層 | S51～S61 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 金岡東第１ | 465 | 中層 | S41～S42 | 　 |  |  |  |  |  |  |  |
| 金岡東第２ | 370 | 中層 | S40～S43 | 　 |  |  |  |  |  |  |
| 金岡東第３ | 764 | 中層 | S40～S41 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 金岡東第５ | 881 | 簡耐・中層 | S42 | 　 |  |  |  |  |  |  |  |
| 金岡東第６ | 574 | 中層 | S43 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 百舌鳥梅町 | 581 | 高層 | S45 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 堺白鷺東 | 384 | 高層 | S50 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 南区※3 | 宮山台第１ | 430 | 中層 | S42～S46 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 宮山台第２ | 220 | 中層 | S42 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 宮山台第４ | 671 | 中層 | S41～S44 |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高倉台第３ | 479 | 中層・高層 | S45～S46 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高倉台第４ | 280 | 中層 | S45 |  |  |  |  |  |  | ○ |  |
| 高倉台センター | 313 | 高層 | S46 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 竹城台第３ | 555 | 中層 | S42 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 竹城台第４ | 445 | 中層 | S42 |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 若松台第１ | 650 | 中層 | S43～S51 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 若松台第２ | 682 | 中層 | S43～S47 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 三原台第１ | 1,605 | 中層 | S44～S45 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 晴美台第３ | 270 | 中層 | S46 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 堺市 | 南区※3 | 晴美台第４ | 804 | 中層・高層 | S46 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 槇塚台第１ | 1,128 | 中層・高層 | S46 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 桃山台１丁 | 330 | 中層 | S46 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 桃山台２丁 | 180 | 中層 | S46 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 桃山台３丁 | 210 | 高層 | S46～S49 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 原山台３丁 | 1,064 | 中層・高層 | S47 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 原山台４丁 | 85 | 高層 | S47 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 原山台５丁 | 1,013 | 中層・高層 | S47～S48 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 庭代台２丁 | 490 | 中層 | S47 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 赤坂台３丁 | 1,253 | 中層・高層 | S47～S48 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 城山台２丁 | 688 | 中層・高層 | S51～S52 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 新檜尾台３丁 | 300 | 中層 | S52 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 御池台２丁 | 170 |  中層 | S53 |  |  | ○ | ○ |  |  |  |  |
| 鴨谷台１丁 | 350 | 中層 | S54～S57 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 高石市 | 富木 | 182 | 中層 | S48～S52 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 富木南 | 70 | 中層 | S55～S56 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高石加茂 | 105 |  高層 | S51 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 取石 | 240 | 中層 | S44 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 高石綾井 | 88 | 中層 | S54 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 泉大津市 | 泉大津式内 | 132 | 中層 | S50 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉大津小松 | 82 | 中層 | S60～S62 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉大津東助松 | 176 | 中層 | S63～H2 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉大津助松 | 33 | 中層 | H5 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 和泉市 | 和泉今福 | 330 | 中層 | S56 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 和泉繁和 | 268 | 中層 | S60～H3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 和泉北信太 | 312 | 中層・高層 | H5～H7 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 岸和田市 | 岸和田田治米 | 720 | 中層 | S45～S46 |  |  | ○ | 　 |  |  |  |  |
| 岸和田天神山 | 580 | 中層 | S53～S55 |  |  | ○ | 　 |  |  |  |  |
| 岸和田春木 | 254 | 中層 | H1～H3 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 岸和田額原 | 231 | 中層 | H4～H5 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 市区町名 | 団地名 | 管理戸数 | 構造 | 建設年度 | 前期（H28～H32） | 後期（H33～H37） |
| 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター | 耐震改修 | 建替え | 集約 | エレベーター |
| 貝塚市 | 貝塚三ツ松 | 1,376 | 中層 | S44 |  |  | ○ | 　 |  |  |  |  |
| 貝塚久保 | 420 | 中層 | S45 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 貝塚三ツ松第２ | 450 | 中層 | S47 |  |  | ○ | 　 |  |  |  |  |
| 泉佐野市 | 羽倉崎 | 396 | 中層 | S39 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 佐野台 | 200 | 中層 | S40 | 　 |  |  |  |  |  |  |  |
| 鶴原中央 | 450 | 中層 | S44 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉佐野見出 | 220 | 中層 | S46 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 長滝第１ | 230 | 中層 | S46 |  |  |  | ○ |  |  | ○ |  |
| 佐野泉陽ケ丘 | 42 | 中層 | S52 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 泉佐野上町 | 16 | 中層 | S53 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 泉佐野泉ケ丘 | 279 | 中層 | S62～H3 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 泉佐野長滝 | 304 | 中層 | S63～H2 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉佐野鶴原北 | 168 | 中層 | H2～H3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉佐野鶴原 | 147 | 中層 | H6～H8 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 泉南市 | 前畑 | 450 | 中層 | S46 | 　 | 　 | ○ |  |  |  |  |  |
| 阪南市 | 尾崎鉄筋 | 430 | 中層 | S44 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| 東鳥取石田 | 1,200 | 中層 | S44～S48 | 　 | 　 | ○ |  |  |  |  |  |
| 熊取町 | 熊取朝代 | 490 | 中層 | S47～S48 |  |  |  |  |  |  | ○ | ○ |
| 田尻町 | 田尻芦原 | 24 | 中層 | S50～S51 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |
| 岬町 | 岬深日 | 120 | 中層 | S47 | 　 | 　 | ○ |  |  |  |  |  |

※1　南生野住宅については、大阪市が実施している生野区南部地区整備事業にあわせて、大阪市営住宅に集約移転を行います。

※2　東大阪春宮住宅については、長周期地震動対策として調査等を実施し、必要に応じて補強等の対策を講じます。

※3　泉北ニュータウン内の団地については、「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画」と整合を図りながら、事業を進めていきます。